

「令和元年度飼料用米多収日本一 関東農政局長賞」受賞者の取組概要

【千葉県】

褒賞名	関東農政局長賞
受賞者名	アンドウ コウイチ 安藤 浩一
所在地	千葉県匝瑳市
品種名及び作付面積	アキヒカリ:約1.4ha
10a当たり収量	724kg/10a
地域の平均単収からの増収	184.9kg/10a
取組内容	○経営形態・経営面積・作付品種及び各面積 ・家族経営により、水稻専作で約2.5haを経営。 主食用米(コシヒカリ):1.1ha 飼料用米(アキヒカリ):1.4ha ○多収品種への取組状況(取り組んでいる期間や経緯等)・作付品種及び面積・品種選択の理由等 ・省力化や作期分散が期待されることから、平成27年頃から飼料用米(多収品種)に取り組んでいる。 ・アキヒカリ:約1.4ha ・作付品種は、短稈で倒伏しにくく、多収が見込める「アキヒカリ」を選択した。 ○多収を達成するために取り組んだことについて (播種形式・施肥方法・水管理等、生産性向上に向けた取組) ・田植:4月24日・25日 ・基肥:宇部高チツソー発早生用(20-12-14)45kg/10a ・除草剤散布やヘリ防除により雑草、病害虫対策を徹底している。 ○その他コスト削減等の取組があれば具体的に記載 ・田植え、基肥施肥、除草剤散布を同時に行うことにより、作業の省力化、効率化を図っている。 ・刈り取りから調製までの主要な作業を共同で実施している。 ・フレコン出荷等。